

あたり前ではないこと

池田学園池田中学校 三年 横山^{よこやま} あさみ

蛇口をひねればいつでもどこでもきれいな水が出てくる、というのは当然のことだと私は思っていた。

数年前、私は家族と台湾へ旅行に行った。ホテルに着き、部屋を見てまわると、水道の横に「水道水を飲まないでください。」という文が何ヶ国もの言葉で書いてあった。

とても驚いた。今までの日常で水道水を飲むなどは、言われたことがなかったからだ。不思議に思い、なぜ水道水を飲んではいけないのかと母に聞くと、「お腹をこわすかもしれないから。」と答えてくれた。そして、海外では水を飲んだり、うがいをしたりするときには、ペットボトルに入ったミネラルウォーターを使うことになり、きれいな水はあって当然なものではないということを通じて教えてくれた。

帰国後私は、他にも台湾のように水道水を

飲んではいけない国があるのかと気になったので、インターネットで調べてみた。すると、私の予想とは違う答えがそこにはあった。水道水を飲める国は、日本、イギリス、フランスなど世界でたったの十一ヶ国しかないのだ。私は、飲める国よりも飲めない国のほうが多いということにとっても驚いた。例えばインドでは、野菜など食べ物を洗うときは、水を浄水器に通す、家に何十本も飲料水が置いてある、というのがあたり前だそうだ。日本に住んでいる私達は、本当にめぐまれているのだな、と思った。台湾での体験を通して、水について少し考えることができた。

そして、もう一つ水について考えさせられた出来事がある。それは、昨年三月十一日に起きた、東日本大震災だ。地震に伴って発生した津波や原発事故によつてとても大きな被害が出た。震災から数日後、ニュースでよく「水不足」という言葉をとりあげていた。地震により水が不足し、原発事故によつて水

が汚染され、スーパーやコンビニのミネラルウォーターが全て売り切れてしまったそうだ。飲み水はもちろん必要だが、手や顔を洗う水、トイレを流す水、洗たくをする水、きりがないほど必要な水が、蛇口をひねっても出てこないということとは、想像もできないくらい大変だろうと思う。同じ日本の中で、地震や地震で起きた水不足などで苦しんでいる人達がたくさんいると思うととても胸が苦しくなつた。地震が起きたとき、被災地から遠い鹿児島に住んでいる私は、何不自由なく生活していた。おいしい水も飲め、お風呂にもいつも通り入れた。このニュースを見て、水が私達の生活にどれほど大切で必要なものなのかを知った。

水について考え、蛇口をひねればいつでもどこでも水が出てくるというのは当たり前なことではなく、私達は水がなければ生きていけないということを学んだ。私は今まで、水を出しっぱなしにしたり、無駄使用をしたり

していた。しかし、世界には水がなくて困っている人達がたくさんいる。そのことを忘れずに、大切に水を使っけていきたい。

水がなければ、私達は生活することはできないし、生きていくこともできない。他の動物や植物も同じだ。植物は水がなければ芽を出すことはできない。水は命の源だと思う。水をいつでも使える私達一人一人が感謝しながら大切に使わなければならない。そして、世界の人々みんな水に困ることがなくなるよ。うな方法を考えていくべきだと思う。私はいつか、水に困る人達がいなくなることを願っている。